

原子炉利用研究者グループ幹事会 議事録

(1) 日時：平成 24 年 10 月 15 日(月) 12:00~13:00

(2) 場所：京都大学原子炉実験所 図書棟会議室

(3) 出席者（敬称略、順不同、所属無記載は京大原子炉）

海老原充（首都大学東京）、福本学（東北大学）、堀史説（大阪府立大学）、
永井康介（東北大学）、増永慎一郎、徐虬、小野公二、川端祐司、高宮幸一、
田中浩基、三澤毅、杉山正明、北尾真司、大川久美子

(4) 配付資料

1. 議事次第

(5) 議事

1. 選挙について [増永氏（京大原子炉）]

・選挙の開票について

次期運営委員会委員候補者、次期共同利用研究委員会委員候補者、次期幹事選出選挙の投票が9月24日から10月5日にかけて行われ、本日10月15日午前中に開票が行われた旨の報告があった。その結果の上位得票者についてホワイトボードにて報告があった。幹事については、所内および所外で各10名ずつ程度として、分野のバランスを考えて選出する旨の説明があった。

・次期運営委員会、次期共同利用研究委員会 各委員候補者推薦者の選出

次期運営委員会委員候補者は上位得票者より別紙の方が推薦者として決定された。

次期共同利用研究委員会委員候補者について、選出上位得票者より推薦者が提案されたが、福島氏については生物・医学系として選挙されたものの、ご本人の希望を考慮して、福島氏を化学系とし、生物・医学系から次点の上位者を繰り上げて選出することとなった。また、工学系は、栗田氏と笠田氏が同数であったが、笠田氏は京大のため、京大内に偏ることを避けることから、栗田氏を推薦することとなった。その結果、別紙の方が推薦者として決定された。

・次期幹事の選出

所内幹事については、小野公二氏の辞退を受け、別紙の11名が選出された。

所外幹事は、松本義久氏と松井秀樹氏については医学系幹事が多いことから、栗田氏については、工学系幹事が多く、共同利用委員会委員候補者にも選出されていることから遠慮いただき、別紙の13名が選出された。

(※なお、幹事選出にあたっては、幹事会の終了後、幹事の得票数の数え落としが判明したが、幹事への平成 24 年 10 月 22 日付メールにての最終得票数と選出理由の確認をもって、選出者が了承された。)

2. 新旧合同幹事会開催日の決定 [増永氏 (京大原子炉)]

次期幹事会は新旧幹事合同で行い、平成 25 年 1 月 28 日 (月) とすることが提案された。

3. その他

・ 共同利用体制改善ワーキンググループへの所外人選について

川端氏 (京大原子炉) より共同利用のシステムの見直しについてワーキンググループで議論されており、所内で議論することになっているが、所外からも意見を吸い上げる必要があり、研究を活性化するために問題点を鋭く指摘してもらえるような人を推薦してもらえるよう依頼があった。推薦がなければ適当な人を人選し、本人の承諾を得た後、本幹事会で了解を得たいとの説明があった。

海老原氏 (首都大) より人選する場合は、比較的若い人でヘビーユーザーがよいとの提案があった。また高宮氏 (京大原子炉) より他の施設もよく知っていて比較検討してもらえるような人がよいとの提案があった。

・ 宿舎の老朽化について

海老原氏 (首都大) より、宿舎が老朽化しており、活性化の下支えとして新設や改装ができないかとの要望があった。また、福本氏 (東北大) より、利用日数が長い人と短い人など、利用者によって意見が異なるので、多分野の意見をまとめて要望をだすべきとの意見があった。

川端氏 (京大原子炉) より、予算は厳しいが要望を出していくことが重要であり、継続して改善を求めていくとの説明があった。

・ 所内の道路舗装の改善について

堀史説氏 (大阪府大) より、実験所内の道路の整備を行ってほしいとの要望があった。液体窒素の運搬時にガタガタして危険であり事故につながりかねないので、宿舎より優先して要望する必要があるとの意見があった。

三澤氏 (京大原子炉) より、今年度から来年度に、所内の配管を大幅に改修する計画があるため、部分的に舗装が改良されるとの説明があった。ただしライナックまでの道路は改修しないので、これを機に一斉に改善してもらおうよう要望するのがよいとの意見があった。

文責：北尾真司、田中浩基

別紙

次期運営委員会委員候補者、次期共同利用研究委員会委員候補者、次期幹事選出結果
(敬称略、順不同)

運営委員会委員候補者

分野	推薦者氏名(所属)
物理	栗山一男(法政大)
化学	海老原充(首都大)
生物・医学	福本学(東北大)
工学	竹中信幸(神戸大)

共同利用研究委員会委員候補者

分野	推薦者氏名(所属)
物理	田崎誠司(京都大)、堀史説(大府大)
化学	佐々木隆之(京都大)、福島美智子(石巻専修大)
生物・医学	中村浩之(学習院大)、宮武伸一(大阪医)
工学	栗田高明(鳴門教大)、土田秀次(京都大)

原子炉利用研究者グループ幹事

	氏名(所属)	人数
所外	海老原充(首都大)、堀史説(大阪府大)、宮武伸一(大阪医科大)、竹中信幸(神戸大)、堀均(徳島大)、平塚純一(川崎医科大)、永井康介(東北大)、佐藤渉(金沢大)、鷺山幸信(金沢大)、田崎誠司(京都大)、秋吉優史(京都大)、土田秀次(京都大)、笠田竜太(京都大)	13名
所内	増永慎一郎、徐虬、櫻井良憲、佐藤紘一、高宮幸一、田中浩基、杉山正明、齊藤泰司、田野恵三、堀順一、八島浩	11名

備考

平成24年7月9日開催の原子炉利用研究者グループ幹事会において次期運営委員会委員及び共同利用研究委員会委員の選挙候補者が選出されたが、運営委員会委員候補者2名（谷脇氏、鬼柳氏）、共同利用研究委員会委員に1名（関根氏）の辞退があったため、海老原代表幹事、増永総務幹事、徐会計幹事の協議により新たな候補者として、運営委員会委員候補者2名（原一広氏(九州大)、小林義男氏(電通大))、共同利用研究委員会委員1名（鳥飼直也氏(三重大)）を選出し、選挙の候補者とした。選挙候補者の変更については平成24年8月22日付のメールをもって幹事への報告がなされた。

本選挙にて選出された候補者については、原子炉実験所運営委員会（平成25年1月頃開催予定）において、運営委員会委員候補者4名のうち3名が次期運営委員会委員に選出され、共同利用研究委員会委員候補者8名が次期共同利用研究委員会委員として承認される予定である。